

パウダーレスインキ「キレイナ」の実力 (広告)

8. UV印刷機との並列稼働〔双葉印刷、共和印刷〕

双葉印刷(株)(社員37人、東京都文京区関口)は東京・神田猿樂町で1949年に創業し、共和印刷(株)(社員13人、埼玉県新座)が埼玉・戸田で1964年に創業した。2015年5月、両社はグループ会社となり、菊池秀典社長がまとめていくことになった。

技術に注力

両社は創業以来、平版オフセット印刷技術を磨いてきた。双葉印刷の創業者である戸部正三郎氏は、連続給水装置「ダールグレン」を日本で最初に導入したという。戸部氏の弟の菊池国男氏は共和印刷を創業し、国産機では初の両面専用表裏8色機を設備したという。その技術力は引き継がれ、たとえばジャパンカラー認証制度標準印刷認証を取得している。また、印刷機周りの足場のような設備も、オペレータの動き含め工場全体の効率を考え、特注している。

両社のグループ化により、今では2社合わせ菊全判両面8色機「J-Print」2台、菊全判4色機「リスロンLS-440」、同菊半裁判反転機構付き

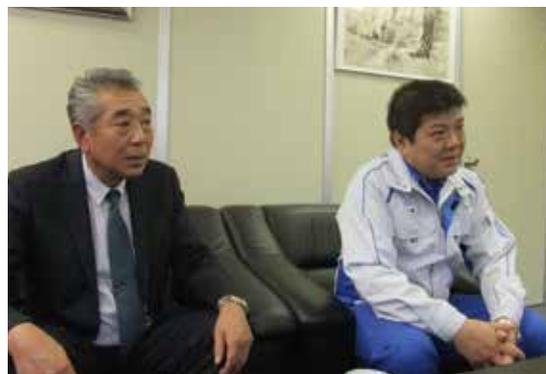
4色機「エンスロン426P」、省電力UV「H-UV」搭載菊全判4色機「リスロンGL-440」とH-UV搭載A全判4色機「リスロンGL-437」、などを稼働させている。都内での24時間、デジタル印刷機「インプレミアC80」による小ロットなどに対応している。

施策案内や金融商品紹介などの表裏4色商業印刷製品とポスターやカタログが中心の印刷会社である。ニス掛けや特色指定の印刷物を受注すれば協力会社をお願いし、自社では4色両面に注力して、業績を上げている。

UV印刷機と同等

2社とも、当初からインキはT&K TOKAを採用していた。8色機「J-Print」を導入したときは、両面機用インキの開発は真摯に取り組んでくれたという。

菊池社長は、パウダーレスインキ「キレイナ」が2014年3月に発表された当初から興味があった。ただし、同社は2013年からH-UV印刷機などの新設や更新が続いており、印刷機が落ち着



菊池秀典社長(左)と中野和波工場長



キレイナを使っている菊半裁判4/0・2/2反転機。右奥に印刷機横の特注のステップや手すりがあり、その上に少し見えているのが手すりの上にある備品棚

くまで様子を見ていた。また、ジャパンカラーを認証取得していたため油性インキとUVインキとの印刷物のカラーマッチングも気になっていた。

同社は、UV印刷機と油性印刷機をパーティションなしで隣同士に設置しており、工場をきれいにすることや、パウダーのボタ落ち対応よりも、UV印刷機へのパウダーによる影響が起きないようにとの心配から、キレイナへの関心が大きくなっていった。

そして2015年8月に新台導入テストも兼ねながら、まず双葉印刷でキレイナによる印刷を始めた。

その結果、それまでのパウダー散布量が多量だった両面機で半分になった。少し軽めの絵柄であれば3分の1程度の量で行っている。

中野和波工場長によると「もちろんパウダーゼロは考えてはいますが、紙の種類や絵柄の重さ、デリバリでのコスレなど印刷品質に影響するので、簡単にはいきません。文字ものや上質紙中心の仕事であれば、パウダーゼロは行けるでしょう」とのことだ。

共和印刷では、双葉印刷の実績を踏まえ10月からキレイナの200kgドラム缶供給で印刷を始めている。当初、パウダー量はデフォルト値の7割程度であったが、現在、徐々に減らしていつているという。

UV印刷機の間感

「キレイナ」は、セット乾燥が従来油性インキに比べ速いことも特徴の一つである。特殊樹脂がインキ表面を改質し、短時間でサラッとさせることでセット乾燥を大幅に促進させている。

双葉印刷は、油性印刷機での仕事は、上がり面の印刷を始めるにも、印刷物を早く2~3時間、絵柄や紙によっては一晩置くくらいの時間が必要だった。それがキレイナだと、片面刷って30~40分程度ですぐに上がり面の印刷を始められるという。その間感は、隣にあるUV印刷と変わらないそうだ。なお、キレイナには、被膜強化剤やドライヤーなどの添加剤も入れていない。

キレイナを採用したことでパウダーの大幅削減につながり、双葉印刷でも共和印刷でも清掃時間が2時間から1時間になった。

そして、双葉印刷ではUV印刷機と油性印刷機の並列稼働も可能になっている。ファンシー系のセット乾燥の遅い用紙などの場合は、キレイナであっても上がり面印刷までに多少時間をかけている。仕事によっては、さらに短納期であったり、マット紙など擦れが気になる用紙や重い絵柄の場合は、UV印刷機が最大限活躍している。

「キレイナ」による油性印刷機とUV印刷機の共存、並列稼働のメリットを享受している印刷会社である。(つづく)

革新的なパウダーレスインキ「ベストワン KIRÉINA」誕生。

キレイナ印刷
キレイナ加工
キレイナ機械
キレイナ工場

BEST ONE
KIRÉINA

T&K TOKA

株式会社 T&K TOKA <http://www.tk-toka.co.jp>
TEL 049-258-1611(代表) 埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1 〒354-8577